

バタビアコース・グローバルクラスへの進学を考慮しておられる方へ。

2025年度 入学試験のご案内 *詳細については生徒募集要項をご覧ください。

前期日程

2月10日(月) 5科目入試

専願・併願

- 【1】国語
- 【2】数学
- 【3】英語 (リスニング含)
- 【4】社会
- 【5】理科

後期日程

2月12日(水) 3科目入試

併願のみ

- 【1】国語
- 【2】数学
- 【3】英語 (リスニング含)

◎2024年度入試より新設

グローバル特別推薦入試

2月10日(月) 2科目+小論文・面接

専願かつ条件クリアの方のみ

- 【1】国語
- 【2】小論文
- 【3】英語 (リスニング含)
- 【4】面接

*受験をお考えの方は中学校の進路の先生に相談してください。

帰国生入試

12月22日(日)

専願・併願

α型 3科目入試 国語・数学・英語

*国語は現代文分野のみ(古典分野なし)

β型 入試

小論文・個人面接・書類審査

*受験をお考えの方は
本校へ直接お問い合わせください。



高校在学中に2回ある海外留学

グループワークやプレゼンテーション

日本文化や国際関係ゼミ、模擬国連など特色ある授業

ALL ENGLISHで学ぶ実践的な英語

さあ、豊穡たる世界に飛び出そう！



松井周(高2)作

BATAVIA COURSE GLOBAL CLASS

バタビアコース・グローバルクラス

世界を知って、自分を知る。

確かな拠りどころから

世界の人たちと共に歩む勇気を育てる。

大谷のグローバルクラス。



納付金

留学費用(2回分) 約1,500,000円

グローバルクラスのみ。留学費用は、積立です。

◎燃油サーチャージや為替の影響により変動します。

*渡航費やUC Davis 授業料、ホームステイ費などが含まれます。

以下、他コース・クラスと同様です。

入学手続料 140,000円

校費(年額)

・授業料 552,000円

・教育費 120,000円

・施設設備費 60,000円

・保護者会・後援会・生徒会費 36,000円

・雑費(外部模擬テスト代など) 80,000~100,000円程度

*校費は、3期に分けて納入となります。

上記他に、教科書代(3万円程度)、ノートパソコン代(8万円程度)、

制服・体育用服装代など(8万円程度)の費用が必要です。

*研修旅行には参加しませんので、その費用は不要です。



グローバルクラスの最新情報は本校
web サイトでご確認ください。

<https://www.otani.ed.jp/global/global.html>



大谷高等学校
OTANI SENIOR HIGH SCHOOL

〒605-0965 京都市東山区今熊野池田町12

Tel.075-541-1312 Fax.075-541-7627

www.otani.ed.jp

JR・京阪「東福寺」駅より徒歩5分
京阪「七条」駅より徒歩10分

JR・近鉄・地下鉄「京都」駅より徒歩18分

京都市バス(202,207,208,88,58系統)「今熊野」バス停より徒歩1分



大谷高等学校
OTANI SENIOR HIGH SCHOOL

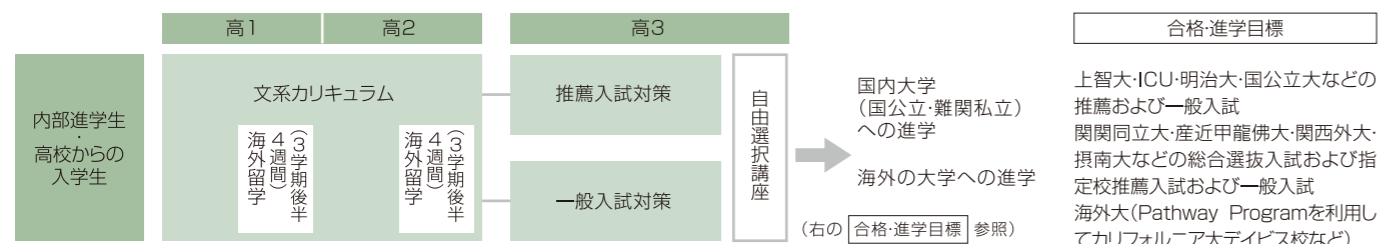


国際的な場において活躍するための基礎づくりをめざす

バタビアコース・グローバルクラス

2024年度入学者 / 22名 (1クラス)

国際的な場において活躍する基礎を築くための特色ある学びを行っていきます。バタビアの基礎学力定着はもちろん、模擬国連と国際関係ゼミを大きな柱として、本国だけでなく、地球規模で考える力を身につけていくことを目指します。また、2回の海外留学を通して、語学力だけでなく、自らの手で様々な困難を乗り越える力や発信力を養っていきます。こうした経験を生かして国内または海外の大学への進学を目指します。



Our Mission

グローバルクラスの生徒像

自己を知り、自国を理解し、自分の考えをしっかりと持ったうえで、国際的な場において相手を尊重しながら、お互いに意見のやりとりを行い、より平和な世界を築くために貢献できること。

本願 いのちを大切に

自他ともに認め合い、人の痛みをきちんと受けとめ、様々な価値観を尊重し合いながら世界平和を願う人を目指します。

聞法 自分を発見する

自分の考えをしっかりと持ち、想いをことばとして的確に表現しながらも、謙虚な態度を崩さず、人の意見に耳を傾け、常に自己分析をし、良い点を評価し、悪い点を改善する振り返りができる人を目指します。

同朋 友と共に歩む

共に歩む仲間を大切に、お互いが成長するため、失敗を認め合える人を目指します。

精進 本気でやりとげる

顔を上げ、常に挑戦する気持ちを失わず、前を向いて進んでいける人を目指します。

世界で活躍する人となることをめざす

- 2回の海外留学がある(1・2年次の3学期後半)
- 「模擬国連」「国際関係ゼミ」など特色ある授業
- 日本文化を学び、世界へ発信していく
- 英語で学ぶ実践的な英語
- 「人間力を高めること」がグローバル社会で活躍するキーワード
- 対話力やプレゼン力がつく

【生徒からのメッセージ】あなたにとって模擬国連とは？

模擬国連に取り組んだことで、国際問題について自分の意見を持ち、解決策を考えることができるようになったが、自分がどれだけ考えたとしても、実際には問題の解決には繋がらず、現状は変わらないことにも気付いた。しかし、国際問題の解決がどれだけ難しいかを知ったことは、自分にとって大切な財産となった。私は自分の微力さに落胆するのではなく、どれだけ小さなことでも、社会のための行動を続けていこうと思う。

各学年における目標

1年 鍛錬期 ~自国と自己を見つめる~

鍛錬期の目標は「自国を知る・発信力をつける」です。海外に出た時に痛感することの一つはいかに自分が自国のことを知らないかです。外国の人たちに自国をきちんと説明できるだけの知識を身につけることが大変重要です。また、国際社会では意見を求められることが多く、その際にしっかりと自分の考えを述べられる準備が必要で、発信するための様々なノウハウを身につけることが大切です。環境が目まぐるしく変わる外の世界で活躍するために模擬国連や国際関係ゼミなどの授業を通して、基礎的な力を鍛錬します。そして、3学期後半には1回目の留学をむかえます。

2年 挑戦期 ~自分を試す~

挑戦期の目標は「留学を通して、失敗に挑む」です。1年次の留学は自分を試す第1の関門です。全く未知な環境の中で期待と不安を抱きながらの挑戦となるでしょう。新しいものに出会い、自分に向き合う経験が大切です。そしてこの1度目の留学は出来たことよりも出来ないことを痛感する経験となります。その中から次への課題を見つけ、3学期後半に行う2度目の留学において、どこまで出来るかを試してほしいと思います。

3年 結実期 ~将来に向けて課題の確認~

2度の留学を経て得た知識・経験を踏まえて、将来の進路を考えていきます。海外留学や総合選抜入試、推薦入試で進学を目指します。さらに一般入試にチャレンジします。視野を広く持ち、地元にとどまらずに、世界規模での進路を考えてほしいと思います。

(時間割例・1年)

	月	火	水	木	金	土
	朝学習					
1	体育	化学基礎	数学I	生物基礎	言語文化	言語文化
2	数学A	情報	国際関係	化学基礎	歴史総合	歴史総合
3	論表I	英コミI	土1・2 土3・4	国際関係	数学A	模擬国連 日本文化
4	情報	数学I		数学I	保健	模擬国連 日本文化
5	英コミI	書道	英コミI	英コミI	論表I	
6	現代国語	生物基礎	LHR	体育	書道	
7	宗教	模擬国連		現代国語	英コミI	

※土曜日は原則隔週授業です。

クラス 共通必修	必修 選択	UCデビス プログラム	グローバルクラス 独自授業
-------------	----------	----------------	------------------

カリキュラム (変更の場合があります)

学年	[高3] 月火水木金土														[以上36単位]				
	現代の国語	言語文化	歴史総合	国際関係学 (地理総合)	数学I	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	芸術(書道)	英コミI	論理・表現I	情報I		総合探究(宗教)	模擬国連	日本文化	LHR
1年	2	2	2	2	3	2	2	2	2	1	2	5	2	2	1	2	1	1	
2年	2	2	4	2	4	2	2	2	2	1	5	2	2	1	2	2	2	1	
3年	2	3	5	3	3	5	3	2 or 4	1	2	2	1	2	2	1	1	1	1	
全学年必修	仏教学	真宗学	声明作法																
	2	2	1																

※は共通テスト演習

※以上32または34単位

設置予定



グローバルクラスの特徴ある授業

世界で起きていることを知り、異なる意見にも耳を傾けてみよう。そして《あなた》がどのように考えたのかを知りたいと思います。グローバルクラスの授業には《あなた》が必要です。

英語コミュニケーション(通年)

UC Davisのプログラムで英語力を伸ばす。

グローバルクラスの英語の授業は、カリフォルニア大学デイビス校(UC Davis)の教員が担当します。授業はAll Englishですが、心配はありません。言語習得のプロセスに従い、概要から詳細、音声から文字の順で、「聞く・話す(やり取り・発表)・読む・書く」の4技能5領域をバランスよく伸ばします。また、スピーチやプレゼンテーション、ディスカッションなどの活動が豊富なため、発信力も鍛えることができ、留学や進学につながります。文法や大学入試に必要な知識については、日本人英語教師がUC Davisの教員と連携してサポートしますので、安心して学ぶことができます。大谷で実践的な英語力を身につけましょう。

授業担当者からのメッセージ

Hello, my name's Frank Dutton. I am an English instructor at University of California, Davis, and I've been teaching the Global English courses at Otani since January 2020. I teach every high school level, and it has been a great pleasure to watch my students not only improve their English proficiency but also hone their critical thinking and problem solving skills and become leaders in an increasingly globalized world that demands this expertise. Students are able to shine through various projects, debates, and presentations; and the classes are fast-paced, collaborative, and in English only. Furthermore, the courses of study at Otani help prepare students for the student-abroad experience, as their curiosity and independence are fostered. Students see English as something of value that they can take with them for the rest of their lives.

Frank Dutton (写真左上) カリフォルニア大学デイビス校



国際関係ゼミ(通年)

いま、世界で何が起きている？すべては知ることから始まる。

世界で起きている様々な課題(環境問題や地域紛争など)について知見をひろげることを目標としています。文献調査やフィールドワークなどによるリサーチを実施し、自分の意見をプレゼンテーションすることがゼミの中心的活動になります。また、他の生徒とのディスカッションを通して、より良い世界をつくるためのアイデアを話し合います。生徒の皆さんはゼミのための十分な事前準備が必要ですが、困難を乗り越えた時の達成感は何にも代え難いものがあります。

夏のワークショップ

グローバルクラスでは「国際関係ゼミ」の授業の一環として、全校生徒を対象としたワークショップを夏期講習中に実施しています。V年のグローバルクラス生がファシリテーターとして、企画や準備、当日の運営などを行います。2023年度のテーマは「ジェンダー × 佛教 × SDGs」で、龍谷大学の岩田真美先生をゲストとしてお招きしました。ワークショップではカードや粘土を用いて、ジェンダーについて対話をおこないました。参加者のアンケートには「意外と僧侶に女性が多くて驚いた」や「自分自身が気づいていないだけで、実は相手を傷つけていたのではないか」などの感想がありました。みなさんは誰をゲストとしてお招きしたいですか？一緒にワークショップを創りましょう！

模擬国連(通年)

国益と世界全体の利益のはざままで考え、交渉し、解決策を模索する。

模擬国連とは国際連合で実際におこなわれている会議と同様に、個人またはグループでどこかの国の大使となり、決議案の採択を目指して議論を重ねる活動のことです。授業では、担当国が抱えている様々な事情についてリサーチします。そして、担当国の利益(国益)だけでなく、世界全体の利益について考えるなかで、グローバルな視野を養います。大会におけるスピーチや公式討議は原則として英語でおこなわれ、プレゼンテーション力や交渉力を鍛えます。大谷高校でも「京都高校模擬国連大会」を主催しており、多数の高校生が参加します。



模擬国連では担当国の大使として、交渉に臨みます。議題は「核軍縮」や「児童労働」、「気候変動」など様々です。知識はもちろん、自己とは異なる立場から考える想像力を涵養します。



グローバルクラス生は、大会に参加するだけでなく、主催者として大会の準備や当日の運営などに携わります。

日本文化(1年次)

日本文化を体験し、世界に発信する。

外国との交流を行ううえで、日本のことをより深く知る必要があるという考えから、グローバルクラスでは「日本文化」の授業を設置しています。大谷高校が京都に位置する学校であるという強みを活かして、祇園祭や着付け、京料理、伝統工芸、寺社仏閣などについて体験や学習をしています。とくに祇園祭については、2022年に196年ぶりの復活を遂げた「鷹山」の保存会のみなさんが本校に来て、祇園祭についての講義やお囃子の演奏を披露してくださいました。また、本校の生徒たちも浴衣を着て、祇園祭では厄除けのチマキを授けるお手伝いをしています。日本文化の授業を通して学んだことは、留学中の「JAPAN DAY」で発信します。

グローバルクラス《タテ》のつながり

グローバルクラスには、学年を越えた《タテ》のつながりがあります。先輩・後輩の垣根を越えて交流をする中で、新たな世界が広がります。たとえばグローバルクラスでは読書を推奨していますが、年に1度、「ブッククラブ」を3学年合同で開催しています。ブッククラブでは、それぞれがお気に入りの本を持ち寄って、その魅力を語り合います。また、京都高校模擬国連大会は高1と高2のグローバルクラス生が同じ大会に参加します。また、学年の枠を越えて、グローバルクラス合同でフィールドワークに出かけることもあります。「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、実際にみたり経験したりすることで学ぶことも多いです。これまで下記のような取り組みを実施しています。

【これまで実施したフィールドワークの例】

- ・さすてな京都でゴミ問題を学ぶ
- ・平安女学院高校でキリスト教と隣人愛を学ぶ
- ・広島平和研修
- ・国立民族学博物館研修
- ・神戸モスクでイスラム教を学ぶ



留学プログラム

2度の海外留学を通して、自己を磨きます。

グローバルクラスでは1年次と2年次の3学期にそれぞれ約1か月の海外留学をおこないます。研修先は、本校が提携しているカリフォルニア大学デビス校(UC Davis)です。UC Davisの国際教育センター監修のもと、本校にあった独自のプログラムを作成していただいています。10代での最初の留学は「色々な経験ができた」ということで終わってしまいがちです。2度目がないと、そこでわかったこと一いかに英語ができないか、自分はいったい何者かなどをどう生かし、国際的な場面でどう対処するかを試すことがないまま卒業することになります。2年次は1度目の留学で経験したことから、次に向けて自分は何をすべきかを見つけ、準備をする期間となります。そして2度目の留学において、やり残したこと、挑戦したいことを実現していきます。UC Davisの研修はプレゼンテーションやディスカッションなどが中心で、英語力を徹底的に訓練します。課題をこなすのは大変ですが、それだけ力がつきます。留学中はホームステイをします。約1か月、ホストファミリーと過ごす中で、実践的な英語力の向上はもちろん、異文化に対する理解を深めます。クリスチャンのホストファミリーであれば日曜日に一緒に教会を訪れるかもしれません。ベジタリアンのホストファミリーであれば普段と異なる食生活を体験できます。学校で学ぶ知識もちろん大切ですが、自分の肌で異文化に触れることは、若い高校生にとって重要な経験になります。また、現地の高校生と「JAPAN DAY」を協力して開催し、日本文化を通じた交流も行っています。留学は楽しいことばかりではなく、文化の違いに戸惑うこともあるでしょう。安全圏(Comfort Zone)を離れることは、不快を伴います。しかし、そのためになんか遠く離れた外国に行くのです。そのような経験と向き合い、留学から帰ってきたグローバルクラス生の顔つきはどこか一回り大人になったようにみえます。2度の留学では素晴らしい経験がきっと待っていることでしょう。

大谷高校の留学プログラムをサポートします。



藤田 斉之

カリフォルニア大学 デイビス校 国際教育センター ディレクター



コロナ禍を経て、現在はコロナと共存する時代に入っていますが、世界的な紛争、為替問題、物価の高騰など、日本の現状と世界における立ち位置は複雑化しています。21世紀は、もはや自国だけの視点では物事を捉えきれない時代です。AIや高度な科学技術の発展により、さまざまな分野での進化が進む一方で、人類はなぜ「幸福感」を得られないのでしょうか？さらに言えば、日本のように秩序正しく、思いやりがあり、食文化やサービスが世界から高く評価され、また日本全土を網羅し正確な時刻表のもと運営される鉄道に代表される公共交通インフラが整備され便利で快適な国であるにもかかわらず、2023年の「世界幸福度ランキング」では47位、先進国の中で最下位という結果が出ているのはなぜでしょうか。私達は一体どこに向かおうとしているのでしょうか？

現代社会は確かに便利になりましたが、物事には常に対極にある二面性があります。特に人間社会の根幹をなすコミュニケーションについては、私は大きな懸念を抱えています。現代社会はデバイスを通して常に他人とつながっている時代ですが、この便利さの裏では非常に多くのストレスが伴います。例えば、SNSを通じて不特定多数の人々にメッセージを発信できるようになりました。このこと自体は有益な面もありますが、人間の「承認欲求」が過剰になると、自分の価値観が揺らぎ、他人の基準で物事を判断するようになってしまいます。まさに複雑な時代です。言語の面でも、AIの進化により将来的には外国語(例えば英語)を学ぶ必要がなくなるかもしれません。しかし、これからの益々のグローバル化社会において、言語習得はますます重要になると私は考えています。それは「言語」は「文化」の一部という重要な側面があり、言語を理解するためにはその文化的背景を理解する必要があるからです。したがって、視野を広げ、相違を超えた人類の共栄共存のために異文化理解の観点から外国語の習得が益々重要になってきます。また、これからの時代においては「足るを知る」という価値観も非常に重要だと考えます。「幸福」の定義は個々異なりますが、もし「幸福」を外部に求め続けられ、永遠に満たされることはないでしょう。幸福感とは心の安定や平穏から生まれるもので、現在自分が持っているもの、あるいは手を伸ばせば届くものに感謝し楽しむことが大切ではないでしょうか。ですから、「幸福感」を得るための鍵となる自分に与えられた思考の自由と選択の自由を大切に育てていってください。そのための様々な機会は、京都大谷高校の教員陣による日々の授業やカリキュラム、模擬国連の活動などを通じて無理なく提供されます。皆さんには、自分自身の特性を活かし、「自分以外の人間になろう」とするのではなく、自分が信じる道を一步一步確実に日々歩いていって欲しいと願っています。

グローバルクラスからのメッセージ



同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 英語コース
掛札 瑞水
2024年 3月 バタビア・グローバルクラス卒
(京都教育大学附属京都小中)

グローバルクラスは、貴重な経験ができるクラスです。3年間で2回の留学があり、2回目の留学ではホストファミリーとうまくいかず、辛い思いをしました。日本へ帰りたと思ったくらいです。しかし、それが契機となって「もっと英語を勉強しなければ」と思い、大学でも留学したいと考えるようになりました。模擬国連でも多くの成功と失敗を味わったことで、「国際関係についての勉強が足りない」と感じ、国際関係の学部への進学を決めました。これから大谷で学ぶ人たちにも「自分を高める楽しさ」「楽しい行事だけじゃない楽しさ」「中学のときは違う勉強する楽しさ」を味わってほしいと思います。



浅石 理久
バタビア・グローバルクラス高3
(京都・長岡中)

アメリカへの留学や「日本文化」・「国際関係ゼミ」などの授業に興味を持ちグローバルクラスに入学しました。授業は少人数で、ディスカッションの機会がたくさん設けられています。日本文化の授業では、祇園祭の鷹山のお手伝いをしたり、鷹山保存会の方の話を聞いたり、貴重な経験を通して楽しみながら学ぶことができました。「グローバル」という名前から英語のイメージが強いかもしれませんが、みんなが英語を話せる状態で入学しているわけではありません。もちろん英語は学びますが、世界のさまざまな文化・社会を幅広く学ぶことが大切です。授業や留学を通して確実に成長できるクラスです。



露伴 クルトツッティ
教諭 国語科 バタビア・グローバルクラス高3担任
GSI部顧問

グローバルクラスの担任として「異なる草木が咲き乱れる花園」のようなクラスを育てたいと思っています。型に当てはめた教育は効率が良いかもしれませんが、世界的な視点に立つと多様性が当たり前です。今こそ、優しさや話し合いの姿勢で、世界が協力して非常事態に立ち向かわなければいけないのに、同じクラスの人とすら話せない、廊下で毎日すれ違う人と「気まずくて」話そうとしない人もいます。今求められているのは、人々の間の壁を打ち破って、個性を発揮しながら分け隔てなく仲間と関係が作れる環境です。そのように願う人こそ、グローバルクラスに向いていると思います。

生徒実績

グローバル生は様々な場で活躍しています。

- ▶韓国語スピーチコンテスト/銅賞 ▶第17回公文国際模擬国連大会/ベストスピーチ賞
- ▶JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2021/NPO法人京都海外協力協会賞・佳作 ▶第8回清泉模擬国連大会/優秀賞/2名
- ▶京都私学振興会/文化スポーツ活動賞 など多方面において活躍中

進路実績

一人ひとりの夢の実現に向けて、しっかりサポートします。

- 1期生(2022年 3月卒) : 10名
大阪教育大学1・関西学院大学2・京都芸術大学1・京都女子大学1・静岡文化芸術大学1・同志社大学2・立命館大学2
- 2期生(2023年 3月卒) : 20名
学習院大学1・University of Calgary(カナダ)1・関西大学1・関西外国語大学2・関西学院大学4・京都産業大学1・京都美術工芸大学1・上智大学1・Taylor's University(マレーシア)1・同志社大学3・同志社女子大学1・鳥取大学1・トヨタ名古屋自動車大学校1・龍谷大学1
- 3期生(2024年 3月卒) : 17名
愛知県立芸術大学1・Education First(イギリス)1・大阪歯科大学2・学習院大学1・関西大学3・成城大学1・Taylor's University(マレーシア)3・同志社大学1・佛教大学1・立命館アジア太平洋大学2・立命館大学1